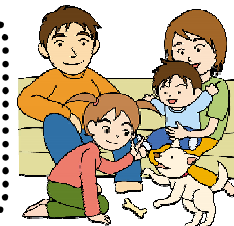


今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



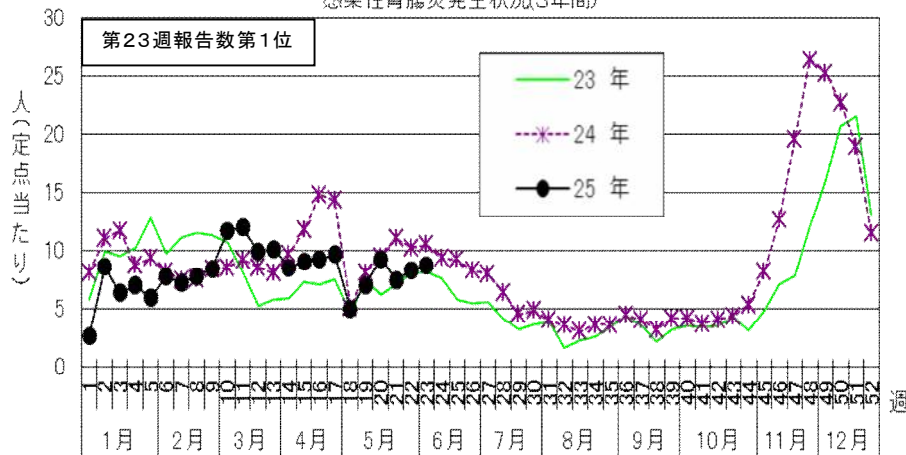
KAWASAKI CITY



平成25年6月3日（月）～6月9日（日）〔平成25年第23週〕の感染症発生状況

第23週で定点当たり報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3) 手足口病 でした。
 感染性胃腸炎は定点当たり8.73人と前週（8.24）より患者報告数はやや増加しましたが、ほぼ例年並みのレベルで推移しています。
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は定点当たり2.24人と前週（2.76）より患者報告数は減少し、例年より低いレベルで推移しています。
 風しんの届出が12件あり、前週より報告数は少なくなっています。現在、本市では、妊娠している女性の夫などを対象に、麻しん風しん混合ワクチン（MRワクチン）接種費用の一部助成を実施していますので、予防接種の検討をお願いします。

感染性胃腸炎発生状況(3年間)



例年よりも早い流行か！？～手足口病～

「手足口病」は、その名前のとおり、手、足、口などに現れる水疱性の発疹を主症状とする感染症で、例年夏季に、乳幼児（主に5歳以下）を中心に流行します。通常数日間のうちに治癒する予後良好の疾患ですが、まれに髄膜炎などの合併症を伴い、重症化することがありますので油断は禁物です。

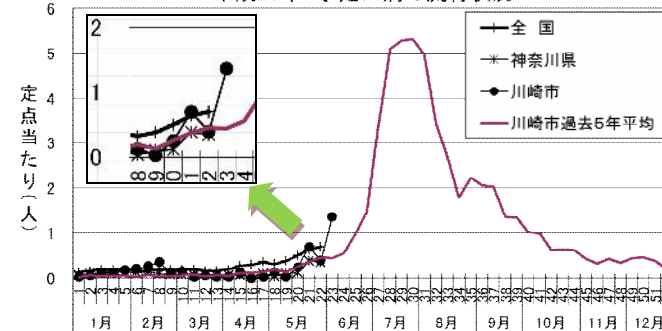


気をつけたいこと！！

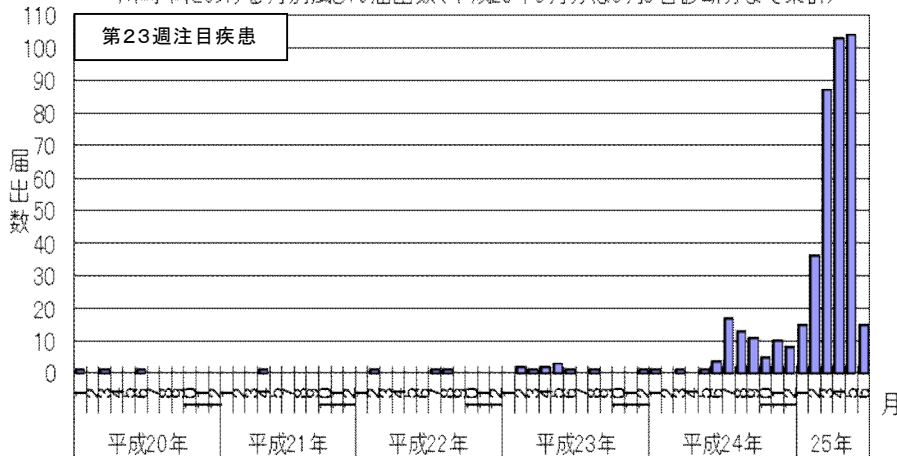
- ①手洗いの徹底及び便などの排泄物の適切な処理が予防対策の基本です。
- ②口の中に発疹ができると、痛みにより飲食できなくなることがあるので、脱水症に注意しましょう。
- ③症状が回復した後も、1か月程度ウイルスが便中に排泄されることがあります。

下のグラフのとおり、第23週に患者報告数が増加し、今後夏季に向けて、さらに患者数が増加することが推測されます。そのため、特に保育園や幼稚園などでは、予防対策を徹底する必要があります。

平成25年 手足口病の流行状況



川崎市における月別風しん届出数(平成25年6月分は6月9日診断分まで集計)



発行 川崎市健康安全研究所・健康福祉局健康安全部・各区役所保健福祉センター（保健所）
 （問い合わせ先）健康安全研究所：044-276-8250（麻しん風しん混合ワクチン接種費用助成に関するものを除く。）
 ※麻しん風しん混合ワクチン接種費用助成に関することは各区役所保健福祉センター地域保健福祉課へ御連絡ください。